

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 音楽 (器楽)

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教出 (教育出版)	器楽・017-72
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○目標を達成するための学習活動の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・器楽については、曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりする活動を行っている。・リコーダーはアルト、ソプラノを用い、どちらでも学習が出来るよう配慮され、基礎的な奏法を楽しみながら身に付けられるようになっている。・ギターを扱い、左手の使い方を画像や動画でわかりやすく提示し、基礎的な奏法を身に付けられるよう配慮されている。・和楽器については、「篠笛」「尺八」「箏」「三味線」「太鼓」を扱い、奏法を身に付けるとともに、生活と社会の関連を図った教材を掲載している。・共通事項については、曲の情景を理解したり、楽器の音色や響きを生かして、全体の構成を工夫して演奏する活動を行っている。・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、活動のポイントや運指図を確認出来るようにしたり、動画コンテンツで模範演奏を試聴したりして演奏する活動を取り入れている。	
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none">・篠笛の演奏において、1人で旋律を吹く活動のあとに、学習した曲を重ねて演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。・多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動を多数掲載し、基本的な奏法を生かし他者との協働で表現を工夫することから、主体的・対話的な学びが展開出来るような特色がある。 <p>○内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none">・表現・器楽に関するもの86ページ、その他20ページ、総ページ数106 (和楽器を扱うページ数51、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数1)	
使用上の配慮等	<p>○多彩な合奏曲を掲載したり、中学生になじみのある旋律を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされており、大変よくできている。</p> <p>○楽器の構え方などの詳細な写真を掲載したり、段階的に身につく演奏の仕方を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルフォントを使用したり (全学年)、カラーユニバーサルデザインに配慮したり (全学年) するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、まなびリンク (二次元コード) を掲載する (全学年) など使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 音楽(器楽)

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教芸(教育芸術社)	器楽・027-72
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○目標を達成するための学習活動の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・器楽については、曲全体の構成を理解したり、パートの役割に合う音色や強弱を工夫して演奏する技能を身に付けたりする活動を行っている。・リコーダーはアルト及びソプラノを用い、どちらでも学習が出来るよう配慮され、基礎的な奏法の他に「パートの役割」、「曲の構成」などについても学びが展開出来るような特徴がある。・ギターを扱い、基本的な奏法を身に付けられるように配慮されているだけでなく、ギターの種類についても説明があり、生徒の興味関心を高められるようになっている。・和楽器については、「篠笛」「尺八」「箏」「三味線」「太鼓」を扱い、楽器の奏法に関する事だけでなく、姿勢や礼儀などについてコラムを掲載され、適切に配慮されている。また、和楽器を用いた平易なアンサンブル曲や親しみやすい曲が取り上げられている。・共通事項については、音色や音の重なり方の特徴を理解したり、音色を変えながら楽器の組み合わせ方を工夫したりして演奏する活動を行っている。・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学びのコンパス」で学習の手順を確認出来るようにしたり、デジタルコンテンツで学習に役立つ資料を視聴したりして演奏する活動を取り入れている。	
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none">・ギターの演奏において、奏法の違いを学習したあとに、奏法の違いを生かして重奏で演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。・各楽器がバランス良く取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。また、様々な楽器編成に対応出来るようになっている。 <p>○内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none">・表現・器楽に関するもの85ページ、その他21ページ、総ページ数106(和楽器を扱うページ数41、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数5)	
使用上の配慮等	<p>○打楽器奏者のコラムを掲載したり、同世代の音楽活動を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習目標に迫るための具体的な学習活動を例示したり、考えたりポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルフォントを使用したり、色覚特性への配慮をしたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載(全学年)するなど使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	